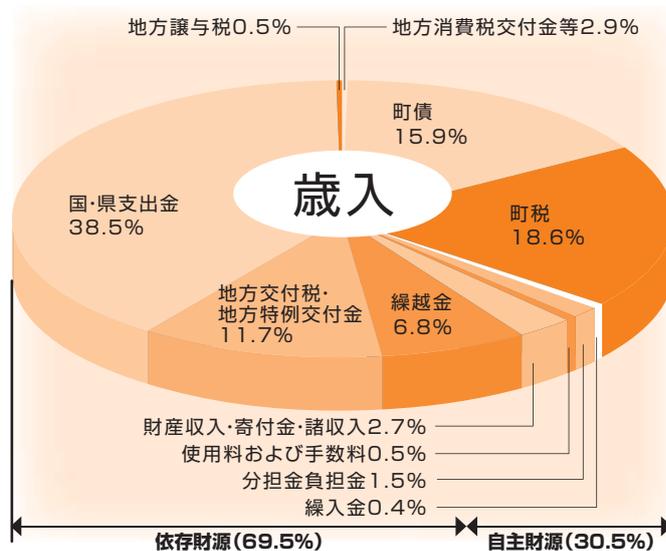
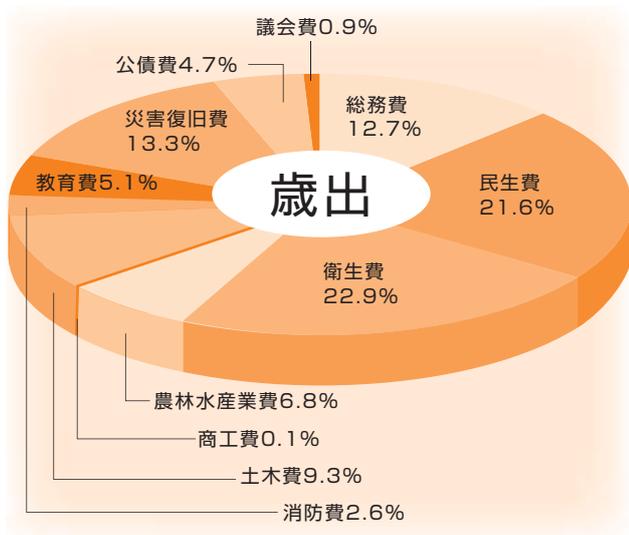


嘉島町 平成29年度一般会計決算

歳出総額 73億1484万円

77億6442万1千円 **歳入総額**



議会費	6543万6千円
総務費	9億2710万1千円
民生費	15億8013万9千円
衛生費	16億7183万9千円
農林水産業費	5億0139万6千円
商工費	514万8千円
土木費	6億8058万4千円
消防費	1億8918万3千円
教育費	3億7115万3千円
災害復旧費	9億7651万3千円
公債費	3億4634万8千円
平成29年度 歳出決算額	73億1484万0千円

町税	14億4146万6千円
繰入金	3008万1千円
分担金負担金	1億1728万9千円
使用料および手数料	3893万9千円
財産収入	248万6千円
繰越金	5億2525万4千円
諸収入	1億8048万2千円
寄付金	2998万2千円
地方交付税	9億0328万9千円
地方特例交付金	767万8千円
国県支出金	29億8712万4千円
地方譲与税	4046万6千円
利子割交付金	166万5千円
配当割交付金	232万2千円
株式譲渡所得割交付金	333万6千円
地方消費税交付金	2億0629万1千円
自動車取得税交付金	989万2千円
交通安全特別対策交付金	208万4千円
町債	12億3429万5千円
平成29年度 歳入決算額	77億6442万1千円

平成29年度嘉島町特別会計決算

国民健康保険特別会計	歳入	14億2114万3千円
	歳出	12億7694万4千円
住宅新築資金等特別会計	歳入	44万0千円
	歳出	12万0千円
介護保険特別会計	歳入	8億3960万6千円
	歳出	7億5572万7千円
公共下水道事業特別会計	歳入	8億4060万8千円
	歳出	7億6847万5千円
後期高齢者医療特別会計	歳入	1億0779万7千円
	歳出	1億0523万1千円
簡易水道事業特別会計	歳入	1億6740万8千円
	歳出	1億6102万0千円

- ▽ 災害廃棄物処理事業 13億1525万5千円
- ▽ 各種災害復旧事業 8億4865万9千円
- ▽ 保育所児童措置費扶助 3億9464万9千円
- ▽ ふれあいセンター整備事業 2億382万5千円
- ▽ 公共下水道事業特別会計繰出金 1億2703万9千円
- ▽ 上益城消防組合負担金 1億3178万4千円

平成29年度
主な事業

嘉島町 平成29年度一般会計決算

歳出 復興加速で過去最大に

歳入 国県の支援なお後押し

嘉島町の平成29年度一般会計決算と、国民健康保険など六つの特別会計決算が9月定例町議会（9月3～7日）で、いずれも認定されました。

それによりますと、町一般会計の歳出総額は前年度を0・5%上回って73億1484万円と過去最大をさらに更新しました。これは熊本地震からの復旧・復興事業が本格化し、加速したのに伴うものです。一方、歳入総額は地方交付税の減額などによって、過去最大78億331万9千円に上った前年度から0・5%減って77億6442万1千円でした。

歳入

歳入総額も28年度から3889万8千円の減額とはいえ、震災に伴う国や県の財政支援がなお後押しし、77億円台に高止まり。

震災で28年度に倍増した国・県支出金は29年度もさらに15・4%の高い伸びで29億8712万4千円に上り、総額の4割近くを占めています。町税は固定資産税が増えるなど14億4146万6千円で28年度に比べ5・3%増えて割合は18・6%に。町税や使用料収入などの町の自主財源ですが、23億6597万9千円で28年度に比べ

1億5574万7千円増加。総額に占める割合も3割を超えました。

一般家庭の借入金に当たる町債は12億3429万5千円。27年度の3・6倍に膨れ上がった28年度から3割近い減額です。

歳出

歳出総額は、震災で前年度から一気に6割超も増加して70億円を突破した28年度をさらに上回り、73億円台に。

本格化した復旧・復興工事が加速した中で、町民の暮らしを最優先に被災した道路や橋りょうなど生活基盤を整備する災害復旧費、土木費が28

年度から倍増し、それぞれ9億7651万3千円、6億8058万4千円に上りました。それを裏付けるように投資的経費が17億6263万6千円に上り、総額に占める割合が28年度の10・4%から24・2%へ。その分、28年度56・3%にまで膨れ上がった物件費や補助費などの経常的経費の方は39・9%にダウン。

特別会計

国民健康保険はじめ平成29年度の六つの特別会計の歳入総額は33億7700万4千円、増加となりました。

国保の一般被保険者1人当たりの医療費は47万2千円で28年度に比べ10・2%増加するなど、医療費の高騰は続いています。

28年度から歳入・歳出とも約30%の大幅増となった公共下水道は災害復旧を継続して行うとともに、震災でストップしていた面整備を再開したため、引き続き29年度も歳入・歳出いずれも30%を超す増加となりました。

健全財政へ目配り

町の財政は何より熊本地震からの復旧・復興を優先しています。このため、必要不可欠な町債の発行（起債）が増え、実質公債費比率（収入に対し、借金返済額の割合）が前年度の5・7%から6・4%にアップ。指数的には健全性を維持しています。ただ、収入に対し、人件費や社会保障費など経常的に必要な経費の割合を示す経常収支比率も前年度の87・7%からジワリ88・4%に上昇。町の貯金に当たる財政調整基金は28年度から8・2%増えて16億4837万2千円あるもの、今後、町債の償還も始まります。高齢化対策など念頭に、31年度予算編成に当たっては健全財政の維持に努めてまいります。

（財政係）